



TITLE:

質疑欄

AUTHOR(S):

CITATION:

質疑欄. 天界 1936, 16(180): 226-226

ISSUE DATE:

1936-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167192>

RIGHT:

質 疑 欄

(問) 「初等天文學講話」(昭和9年1月改正版) 附録の簡易星圖を見ますと、まきを座の δ 星が2つありますが、何れが正しいのですか? 又、「天文學辭典」に海王星の公轉週期がなく、他の總ての大遊星のはあります。是非御加へ下さい。(K. S.)

(答) まきを座の δ 星は冠座に近い方が正しいのです。 ρ 星の北にあるのは γ 星です。御修正下さい。又、海王星の公轉週期は164年288日です。

(山本)

(問) 屢々隕石中に發見せらるゝ金剛石は、隕石が地球大氣中に突入した時に出来るものですか、若しくは元來、隕星中に含まれてゐるものですか。

(京都、新皇子)

上記の質問は早くから編輯室に来てゐます。御意見のある諸君は御洩し下さい。

(編輯)

天界 179 號. 178 頁 に 就 い て

和歌山 古 川 一 夫

余は農業に従事するものなり、長らく農業日誌を通觀するに、各月上、中、下と3旬に分ち記し、尙記憶に便ならしめ居る。而して7曜日も考察するに於いては、毎年變更なる事は實に不確定をかもす事多く、定しく歩むに固く道を閉せられたる型をなして、常に意を得ざる所なり。

各國間に改曆問題を提唱せらるゝにも多々理由あるものなるも、茲に余は一端を書して此問題の成行を熟視する事は、皇紀2600年を紀念とし、更に西曆1940年をトして、強く世界各國に呼びかゝるものなり。願はくは、各人に於いても、意を正して、以て此問題の達成に力められむ事を望む。

とこしへに 之を初めの 言葉こそ 我等進むに しくはなきなり